児童発達支援・放課後等デイサービス

Athletic 安全・利用ガイドライン

感染症・夏の利用・台風・雪・学校休校

お子さまと職員の安全を最優先に、感染症・暑さ・悪天候・学校休校時のご利用のルールを定めました。保護者の皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

こんな時どうなる？（早見表）

こんな時	事業所	お子さまのご利用	詳しくは
全市一斉休校（台風・大雨・雪など）	お休み	全員お休み	第6章
通っている学校だけが休校・学校閉鎖	開所	その学校のお子さまはお休み	第6章
学級閉鎖・学年閉鎖	開所	本人に症状がなければ利用可（10:00〜15:00、ご自宅へ送迎）	第6章
登校時刻の変更のみ	開所	通常どおり	第6章
夏休みや土曜に、一斉休校に当たる悪天候	事業所の判断でお休み	全員お休み	第4・5章
ご利用中に天候が悪化	状況により変更	早めのお迎えをお願いする場合あり	第1・4・5章
送迎が危険と判断した時	状況により変更	送迎をお断りする場合あり	第1章
お子さまに発熱（37.5℃以上）や体調不良	開所	ご利用をお控えください	第2章
ご家族が感染症にかかった時	開所	ご連絡のうえ、体調確認をして判断	第2章
暑さ指数（WBGT）が31以上	開所	屋外活動は中止し、室内で活動	第3章

休みの連絡は、前日夕方に可能性をお知らせし、当日朝8時までにLINEで確定をお知らせします。

第1章 共通ルール

ご連絡は基本的にLINEで行い、急ぐ場合はお電話で行います。

連絡体制

- 緊急時に備え、確実に連絡が取れる緊急連絡先（職場など）をご登録ください。
- 学校からの休校・閉鎖のお知らせは、事業所には届きません。学校閉鎖、学校独自の休校、学級・学年閉鎖になった場合は、事業所へご連絡ください。

休みの連絡のタイミング

1. 前日夕方：翌日お休みになる可能性がある場合、LINEでお知らせします。
2. 当日朝8時まで：開所・お休みの確定をLINEでお知らせします。

悪天候時などの送迎

大雨・強風・積雪・路面凍結などで送迎が危険と事業所が判断した場合は、お子さまと職員の安全を最優先し、送迎をお断りする場合があります。送迎の時間や場所を変更いただく場合もあります。判断は事業所が行い、分かり次第ご連絡します。

場面	対応
行きの送迎が危険	保護者の方が安全に送迎できる場合のみご利用いただけます。難しい場合はお休みください。
帰りの送迎が危険	保護者の方にお迎えをお願いします。お迎えまたは安全が確保できるまで、事業所でお預かりします。
保護者の方も危険で来られない	無理に移動せず、天候が落ち着くまで事業所で待機します。職員も一緒に残ります。

第2章 感染症

感染症は早めのご連絡と、症状がある時のご利用の見合わせで広がりを防ぎます。

ご利用前の体調確認

- 入室前に検温と体調確認を行います。
- 37.5℃以上の発熱、嘔吐、下痢、つらそうな咳などがある場合は、ご利用をお控えください。

ご家族に感染者がいる場合

ご家庭内で感染症（インフルエンザ・新型コロナウイルス等）が確認された場合は、事業所へご連絡ください。

- ご利用の際はマスクの着用をお願いします。着用が難しいお子さまは、無理のない範囲で個別にご相談します。
- 体調の状態や感染症の種類により、ご利用を一時的に見合わせていただく場合があります。

ご利用中に体調不良となった場合

- 発熱・咳・倦怠感などが見られた場合は、速やかに別室で静養していただきます。

- 同時に保護者の方へご連絡し、お迎えをお願いします。
- 感染拡大を防ぐため、他のお子さまとの接触を避け、安全を確保します。

利用再開の目安

次の目安を満たしてから、ご利用を再開してください。発症・解熱・症状軽快の当日を0日目として数えます。

感染症	利用再開の目安
インフルエンザ	発症後5日が経過し、かつ解熱後2日（幼児は3日）が経過していること
新型コロナウイルス感染症	発症後5日が経過し、かつ症状軽快後1日が経過していること
麻しん（はしか）	解熱後3日が経過していること
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	腫れが出てから5日が経過し、かつ全身状態が良好であること
水痘（水ぼうそう）	すべての発しんがかさぶたになっていること
咽頭結膜熱（プール熱）	発熱、充血などの主な症状が消えてから2日が経過していること
溶連菌感染症	抗菌薬の服用開始後24〜48時間が経過していること
手足口病・ヘルパンギーナ	発熱や口の中の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること
感染性胃腸炎（ノロウイルス等）	嘔吐・下痢などの症状が治まり、普段の食事がとれること

- 表にない感染症は、医師の指示に従ってください。
- 医師の判断や学校の登校許可証明が必要な場合は、医療機関の指示に従ってください。

消毒・清掃

- おもちゃ類：毎朝、消毒スプレーで除菌します。
- 事業所全体：毎日、ドアノブ・テーブル・手すりなど手が触れる箇所を重点的に消毒します。
- 嘔吐物など：次亜塩素酸ナトリウムの消毒液と使い捨ての清掃用品で適切に処理します。
- 職員には、処理手順と安全対策の教育を定期的に行います。

第3章 夏の利用

夏は暑さ指数（WBGT）を確認して活動内容を決め、31以上の時は屋外活動を中止します。

暑さ指数と活動

暑さ指数（WBGT）	活動の対応
31以上	屋外活動は中止し、室内で活動します
28以上31未満	激しい運動や持久走は行いません。10〜20分ごとに休憩と水分・塩分補給をします

暑さ指数（WBGT）	活動の対応
25以上28未満	積極的に休憩し、水分・塩分を補給します。激しい運動は30分ごとを目安に休憩します
25未満	体調に気を配りながら、適宜水分・塩分を補給します

熱中症警戒アラートが発表された日は、屋外活動を行いません。のどの渇きや体調を言葉で伝えにくいお子さまには、職員が時間を決めて水分補給を促します。

ご家庭にお願いしたいこと

- 水筒を多めに、帽子、タオル、着替えを持参ください。
- お弁当を持たせいただく日は、保冷剤をご用意ください。
- 寝不足、朝食がとれない、だるそうなど、いつもと違う様子があればご連絡ください。

熱中症が疑われる場合

1. 涼しい場所で体を冷やし、飲める場合は水分・塩分を補給します。
2. 保護者の方へご連絡し、お迎えをお願いします。
3. 意識がはっきりしない、自分で水分がとれない場合は、救急車を呼びます。

送迎車での安全確認

送迎車では、乗降時に点呼などでお子さま全員の所在を確認します。年間を通じて行いますが、車内が高温になる夏は特に徹底します。

夏に流行しやすい感染症

手足口病、ヘルパンギーナ、咽頭結膜熱などは、第2章の目安をご確認ください。

第4章 台風・大雨

台風・大雨の日の開所は、北九州市教育委員会の全市一斉休校の判断に連動します。

日	判断
学校がある日	全市一斉休校になった場合、事業所もお休みです
夏休みや土曜の学校休業日	全市一斉休校の基準に当たる状況であれば、事業所の判断でお休みにします

ご利用中に天候が悪化した場合

- 送迎時間の変更や、早めのお迎えをお願いする場合があります。
- 学校の下校時刻が変わった場合は、事業所へご連絡ください。
- 避難情報が発表された場合は、事業所の計画に従ってお子さまの安全を確保し、保護者の方へご連絡します。

第5章 雪・路面凍結

雪の日も台風と同じく全市一斉休校に連動し、学校休業日は同じ基準で事業所が判断します。

- 雪は当日の朝に状況が変わることがあり、前日にお知らせできない場合があります。当日朝8時までの連絡をご確認ください。
- 学校が通常どおりでも、坂道や橋の上など送迎経路が凍結している場合は、送迎の変更やお断りをする場合があります。
- ご利用中に積雪や凍結のおそれが高まった場合は、早めのお迎えをお願いする場合があります。

第6章 学校休校時の対応

学校がお休みになったお子さまは、事業所もお休みです。学級閉鎖・学年閉鎖は、症状がなければご利用いただけます。

休校の種類ごとの対応

- **全市一斉休校**：事業所はお休みです。児童発達支援のお子さまもお休みです。
- **学校閉鎖・学校独自の休校**：その学校のお子さまはお休みです。他の学校のお子さまと児童発達支援のお子さまは、通常どおりご利用いただけます。
- **学級閉鎖・学年閉鎖**：本人に発熱などの症状がなければ、ご利用いただけます。
- **登校時刻の変更のみ**：通常どおり開所します。

学級閉鎖・学年閉鎖の日のご利用

- 閉鎖になったことを、事前に事業所へご連絡ください。
- 入室前に検温と体調確認を行い、症状がある場合はご利用いただけません。
- ご利用時間は学校休業日と同じ10:00〜15:00で、送迎はご自宅との往復です。

学校を休んだ際のご利用について

- 原則として、不登校を理由としたご利用は認めておりません。
- 医療的・福祉的な配慮が必要な場合など、特別な事情がある際は、事前にご相談ください。

お子さまが安心して通える環境づくりのために、引き続きご理解とご協力をお願い申し上げます。